

3号様式の1

排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
(宛先) 京都府知事		令和 6年 3月 18日				
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府宇治市槇島町中川原28		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 名高精工所 代表取締役 名高 新悟 電話 0774-22-6784				
主たる業種	金属切削加工業(他に分類されない金属製品製造業)	細分類番号	2 4 9 9			
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 産業部門 <input type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択					
計画期間	令和5年4月 ~ 令和8年3月					
基本方針	業務で使用するエネルギー量の可視化し、社内全員が環境と共存した事業活動を意識して、CO2排出量削減に取り組む					
計画を推進するための体制	代表取締役を中心に各部門のリーダーと定期的なミーティング実施を通じて、本計画の進捗管理を徹底する。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (2022) 年度	第1年度 (2023) 年度	第2年度 (2024) 年度	第3年度 (2025) 年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	1,051.2 トン	1,003.7 トン	1,002.7 トン	1,001.2 トン	-4.6 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	1,051.2 トン	1,003.7 トン	1,002.7 トン	1,001.2 トン	-4.6 パーセント
	年度ごとの増減率 (基準年度比)		-4.5 %	-4.6 %	-4.8 %	
目標の根拠	一連の業務作業工程の可視化に努め、業務の省力化・効率化を図っていく事で、目標削減率4%以上の達成を目指す。					
具体的な取組及び措置の内容	1年目	業務の省力化・効率化・自動化・DX化への積極的な取組みにより、排出エネルギー削減に努める。				
	2年目	業務の省力化・効率化・自動化・DX化への積極的な取組みにより、排出エネルギー削減に努める。省エネ設備の積極的な導入				
	3年目	業務の省力化・効率化・自動化・DX化への積極的な取組みにより、排出エネルギー削減に努める。省エネ設備の積極的な導入				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場への太陽光発電導入や品質管理徹底による不良品削減。					
特記事項	2020年度から2021年度はコロナの影響により、工場稼働率低下していた為、基準年度は2022年度単年としています。					

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。